

三位一体

「あなたがたは行って、全ての民を私の弟子にしてください。彼らに父とこと聖霊の名によって洗礼を授け、あなたがたに命じておいたことを全て守るように教えなさい。私は世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」 — マタイ 28、19-20

皆さん、今週の日曜日は三位一体の主日です。カトリック教会では聖霊降臨の主日の次の日曜日は、三位一体の主日です。キリストの死と復活、聖霊降臨という偉大な秘義を祝ったキリスト者は、その救いが父と子と聖霊のわざによるものであることを思い、味わいます。

三位一体の神秘は、私たち人間の知性では決して知るこののできなかったことです。それを私たちに教えてくださったのは、他でもなく、イエス・キリストです。

イエス・キリストは、私たちに三位一体の神秘を啓示してくださったばかりか、私たちを三位一体の内面のいとなみに招き、導いてくださるのです。

今日の福音の中でイエス様はご自分の弟子たちにいくつかの使命を命じています。行くのは全世界です。いろんな所、行ける所は限りがありません。人がイエス様の弟子になるということは、**神様の命を知らせること**、言葉と行いを通して示されたイエス様の愛を人々に豊かに与え経験させる使命をもつことです。イエス様が皆と最後まで一緒にいると約束され、自分の熱心な弟子だけではなく、疑う人にも全人類全てに神様の素晴らしさを告げ知らせることを命じています。このようにイエス様に派遣されたキリスト信者は、三位一体である神様に出会い、神様を知り、神様の世界を味わい、それを世界に告げ知らせます。信仰のない人にとって、三位一体は矛盾に満ちたことにすぎないかもしれませんが、キリスト信者にとっては満足できる、永遠に導かれる神様の愛です。それは頭で理解できることではなく、心で体験できる神様の素晴らしさです。

